

国際教養学部 合格おめでとう！

【理念】

立ち止まって世界を見回すと、きわめて非人間的な事柄が次から次へと起こっています。わたしたちは国際教養学部言語文化学科を、人間が人間としてどうあるべきかを考え、それを自ら探し出し、そして実践することができる、しかもその実践の場は日本のみならず世界全体である、そのような人間を育てる場にしたいと考えて設立しました。つまり、この学部の4年間の勉学・研究そして生活を通じて、人間として一番大切なところを、他者との交流と他者理解を通じて見つけ出し、養ってほしいのです。そのための基礎的な学習が教養です。わたしたち教員は、みなさんが国際舞台で教養を具えて活躍し、人間が人間としてあるべき事を行うことができるように、学問研究の面から全面的に支援します。

上のような考え方で出来た国際教養学部で大切にしていることがあります。それは、学生同士、学生と教員が互いに理解しあうことです。だから、わたしたち教員は学生に声をかけます。みなさんもみなさん同士で、また教員と知り合いになるために、挨拶の声をかけましょう、そして皆の言葉に答えて返事をしましょう。それが他者を知る第一歩なのです。教養を身に付ける第一歩なのです。

【外国語】

国際教養学部では、英語ともう一つの外国語を選択して学びます。使用人口が多く太平洋をへだてたむこうで英語とともに用いられているスペイン語、最大の話者人口をかかえ東南アジアから東アジアにかけて国を越えて使用されている中国語、共生の度合いの深い隣国で使用される韓国語、この三つの言語から、上述した進路を含むみなさん自身のデザインに基づいて、学ぶ言語を選択してください。

多くの人にとって、英語は既習でしょうが、もう一つの言語は未習であろうと思います。そうしたイロハから始める言語と英語を、両方とも週に4コマずつ学ぶことは、愉快で広がりのある学習ですが、簡単ではありません。週4コマ×2言語の授業というのは、高校で言えば、週に16時間の授業があるということです。きちんと予習・復習してください。

また、忘れてはならない重要な事をお伝えしておきます。それは、外国語教育にたずさわる人々にとっては常識なのですが、「母国語が十分に獲得できていない人は、外国語学習もうまく進まない」ということです。どうか、獨協大学に入るまでに、母国語（それが日本語であれ、中国語やスペイン語や他の言語であれ）の本をたくさん読み、様々なテーマについて考えておいてください。

【1年次】

第1学期および第2学期の1年次には、上に述べた外国語のほかに、哲学と基礎演習が必修として課せられます。ですからこの期間の時間割の自由度は高くありません。これは2年次以降の自由度の極めて高い時間割へ進む準備と考えてください。

哲学は、みなさんが大学4年間で学ぶスタートラインを形成するものです。学問を通じて何をするか、出発点を考えてください。第1学期の基礎演習は、大学で学問をするための基礎知識を学ぶ授業であり、第2学期の基礎演習は社会人として活躍することを想定したチームワークで問題解決を目指す学習です。

【次葉に続く】

【教養】

国際教養学部は、大学であって外国語学校ではありません。外国語はあくまでも、様々な学問における調査や議論や発表をするための道具の一つです。国際教養学部では、みなさんが学ぶべき多くの学問分野を「研究科目群」として用意しています。この種類と内容は学部のパンフレットやHPなどで確認してください。

ただここで注意してほしいことが一つあります。わたしたちの大学は日本にあります。わたしたちは、日本で高等教育を受けることが有意味であると考えています。それはここに学ぶべき知の蓄積があるからです。この知の蓄積は、基本的に日本語でなされているので、わたしたちの「研究科目群」の授業も、その多くは日本語で行われます。もちろん、日本語とともに、それぞれの科目の特性に応じて、英語、スペイン語、中国語や韓国語が使用されることはいうまでもありませんし、中には英語だけ、スペイン語だけ、中国語だけ、韓国語だけ、という授業もあります。

【留学】

留学には、集中的に外国語を習得するための短期留学と、言語を学ぶほかに様々なことを学ぶ長期留学とがあります。留学先での単位が最多で32単位まで卒業単位として認められるので、留学しても4年間で卒業することも可能です。留学の希望がある場合は早めに準備を整える必要がありますので、本学の国際交流センターで相談をしてください。

また本学部では、身につけた言語を実際に現地の会社や組織で使用して力を試すことのできる海外インターンシップの制度も用意されています。

ただし長期の留学は基本的に大学での学修に替わるものです。ですから語学のためだけの留学とならない方が、その意味が高くなります。留学先や留学目的など、わたしたち教員と充分に相談してください。

最後に二つお願いがあります。上の**【外国語】**のところに書いてあることと関係しますが、一つは、入学前のこの時期に、高等学校までに学んだ英語について、学び直しをしておいてください。4月からの2言語併習の外国語学習がスムーズにスタートできるように、英語の基礎固めをしっかりとやっておくことが重要です。特に、英語があまり好きではないという人は是非お願いします。もう一つは、今興味を持っていること、または、大学で学んでみたいと思っていることに関する本をたくさん読んでおいてください。その際に自分自身の読書記録をつけてみてください。きっと、入学してから、みなさん自身の学びを作っていくことに役立つと思います。

大学入学にあたって、いくつかのことを述べました。ただ、わたしたちが今、本当に言いたいことは、一つだけです。みなさんの入学を心から楽しみにしています。



国際教養学部 言語文化学科

国際教養学部オリジナル HP

